

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中小田井

## 目標達成計画

作成日: 平成 28年 12月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	53	共用空間における一人ひとりの居場所作りができていない。	利用者様一人ひとりが気の合った利用者様同士で思い思いに過ごせる居場所を作ることができる。	全職員が各階全利用者様の把握ができるように各階の職員の配置換えを3か月ごとに行う。 日常的に各階の利用者様が関わることのできる時間を設ける。	12ヶ月
2	13	施設内研修・外部研修を受ける機会が少ない。	月に1名以上、外部研修に参加することができる。 施設内研修を行い、ケアの質の向上を図る。	外部研修情報を掲示し、参加希望職員を募る。 勤務表作成時に施設内研修・外部研修の予定を組み込む。	9ヶ月
3	34	応急手当や初期対応の訓練を定期的に実施することができていない。	全職員が年1回、応急手当の訓練を受けることができる。	応急手当普及員講習を受講する。(職員1名) 救命講習を3か月に1回実施する。 消防署で行われる救命講習に参加する。	12ヶ月
4	49	一人ひとりのその日の希望に沿って外出する機会を設けることができていない。	その日の希望に沿って外出する機会を設けることができる。	ケース担当者が利用者様の希望を把握する。 少人数で外出する時間を日々の業務改善により設ける。	6ヶ月
5	4	運営推進会議に利用者様・家族様の参加が少ない。	利用者様・家族様が運営推進会議に参加することができ、施設運営に活かすことができる。	運営推進会議の内容をホーム便りでお知らせする。 家族様の参加がしやすいように日程を調整する。 意見箱の周知を行い、家族様の意見を運営推進会議で報告する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。